



## ●株式会社 青葉教育社

所在地 丸亀市郡家町 3154 番地 1

業種 学校用図書出版及び教材教具の販売

事業概要 教材・教具販売・先生方への情報提供

従業員数 12 人（男性 4 人、女性 8 人）

育児休業取得期間 R7 年 10 月に 5 日間取得

【今回のインタビューは、株式会社青葉教育社 総務取締役の西原真弓さんと育児休業取得者の千秋さんにお願ひしました】

### ○育児休業を取得したきっかけについて

【千秋さん】

今回生まれたのは第 2 子でした。出産後に会長から育休の取得を勧められたことがきっかけでした。妻が自営業をしていることや、上の子が現在 6 歳で、幼稚園の送り迎えなどもあり、育児に充てる時間の確保するために育児休業を取得しました。

### ○育児休業を取得した感想

【千秋さん】

今までは、どうしても妻に育児の負担が偏ってしまい、気持ちはあっても十分に子育てができていなかったと思います。今回育休を取得したことで、これまで以上に育児に向き合うことができ、妻からも「育休を取得してくれて非常に嬉しい。すごく助かった。」と喜んでもらえました。

育休中は、毎朝おむつ替えから始まり、ミルクを飲ませたり、お風呂や夜泣きの対応に加え、上の子の幼稚園の送り迎えなども行いました。日常的に激しい夜泣きはありませんでしたが、下の子と上の子の寝室が隣り合っているため、夜中に上の子が起きてしまうこともあり、大変でした。

また、まとまった睡眠が取れなかったり、上の子と下の子が同時に体調を崩したときは特に大変でした。



## ○職場復帰後の生活について

【千秋さん】

最近、17時30分～18時頃には帰宅しています。ちょうど下の子の食事の時間と重なるため、ご飯を食べさせています。会社の隣に社宅があるので、通勤時間によって家庭時間が左右されず、子育てをするのに大変良い環境だと感じています。

妻が外出する際には、私一人で2人の子どもの世話をすることもあります。その際に育児の大変さを改めて実感します。だからこそ、家事や育児を妻と分担しながら取り組んでいます。

## ○職場内でのフォローについて

【西原真弓さん】

千秋さんは営業職ですが、育休期間中は営業に行けないため、納品業務については、他の営業職の従業員が配達を担うなど、フォローを行いました。普段から有給取得時などに、従業員同士でフォローし合うことに慣れており、千秋さんも前もって育休を取得することを伝えてくれたため、特に困ることはありませんでした。

会社の隣に社宅があることから、千秋さんのお子さん2人と顔見知りだったので、子育ての状況についても理解しており、育休取得を応援しました。

## ○ワーク・ライフ・バランス推進、働きやすい職場環境づくりのために行政からどのような支援があればいいと思うか

【西原真弓さん】

制度や情報を知らない方も多いので、広報紙に情報を掲載しているかと思いますが、広報紙を見ない方もいるので、メール配信や若い従業員がいる会社にはSNSなどを活用して情報発信すると良いと思います。



(左から、代表取締役 西原浩気さん、育児休業取得者 千秋さん、総務取締役 西原真弓さん)

### （取材を終えての感想）

育休を取得された千秋さんは、職場復帰後も家庭で家事・育児を分担しながら、仕事との両立を実現されています。上の子と下の子では性別や性格が異なるため、それぞれに応じた対応が必要であることから、工夫しながら取り組まれている様子でした。

また、株式会社青葉教育社さんでは、千秋さんが初めての男性の育児休業取得者とのことでしたが、日頃から誰かが休んだ時はお互いをフォローし合う体制が整っており、今回の育休取得にも問題なく対応できたそうです。

さらに、職場と社宅が近く、家庭時間が確保しやすいことや、会社が子育ての状況を理解し、積極的に応援する風土が根付いていることなど、ワーク・ライフ・バランスが整っている職場だと感じました。

お忙しい中取材にご協力いただき、ありがとうございました。